



小売物価統計調査(構造編) 平成27年分結果・山梨県

目次

1	小売物価統計調査(構造編)の概要	
(1)	調査の目的と沿革	...1ページ
(2)	各調査の概要	...1ページ
(3)	調査価格	...1ページ
2	消費者物価地域差指数	
(1)	都道府県別の物価水準	...2ページ
(2)	10大費目別の物価水準	...4ページ
(3)	平成26年分結果との比較	...5ページ
(4)	地方別の物価水準	...7ページ
(5)	都市別の物価水準	...8ページ
3	店舗形態の違いによる価格差	
(1)	スーパーと一般小売店の比較	...9ページ
(2)	スーパーと量販専門店の比較	...11ページ

山梨県 県民生活部 統計調査課

<問い合わせ先>
生活教育担当
電話 :055-223-1345
FAX :055-223-1347
E-Mail : toukei@pref.yamanashi.lg.jp
HP : http://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/

1 小売物価統計調査(構造編)の概要

(1) 調査の目的と沿革

物価構造については、平成 19 年まで 5 年ごとに実施されてきた全国物価統計調査により把握してきたが、消費・流通構造の変化が加速する中で、5 年周期の統計では物価構造の変化を的確に把握することが困難な状況となってきたことから、全国物価統計調査で把握してきた地域別価格差、店舗形態別価格及び銘柄別価格を毎年把握するための調査を「構造編」として、小売物価統計調査に盛り込み、従前の小売物価統計調査を「動向編」と位置付け、全国物価統計調査を中止することとした。

小売物価統計調査(構造編)は、地域別、店舗の形態別等の物価を明らかにすることを目的とし、地域別価格差調査、店舗形態別価格調査及び銘柄別価格調査の 3 つの調査の種別を設け、平成 25 年 1 月から実施している。

(2) 各調査の概要

	1 地域別価格差調査	2 店舗形態別価格調査	3 銘柄別価格調査
目的	主として都道府県別消費者物価地域差指数を作成	店舗形態別価格表の作成	構造編で独自に指定した銘柄の価格表の作成
調査地域	動向編調査地域(167 市町村)以外の 88 市	道府県庁所在市 46 市(東京都区部除く)	東京都区部
調査月	奇数月	偶数月	偶数月
調査品目	56 品目(58 銘柄) 店舗や地域により価格差が見られるもの、ウエイトの大きいもの等の条件を満たす品目を選定	9 品目(9 銘柄) スーパー以外でも価格を取集でき、店舗形態別の価格差が見込める代表的な品目を選定	9 品目(9 銘柄) 今後、動向編の調査銘柄となりそうな銘柄や、まとめ売りなどの販売形態の異なる銘柄が存在する品目から選定

<http://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/pdf/kchosasi.pdf> に掲載

(3) 調査価格

調査店舗で消費者に販売している通常価格を調査することとしている。各品目の代表的な価格を調査するという観点から、短期間の特売価格や棚ざらい、在庫一掃セール等の特売価格は調査しない。

2 消費者物価地域差指数

消費者物価地域差指数...

地域間の物価水準の違いをみることを目的として、各地域の物価水準を全国の物価水準を100とした指数値で示したもの。全国平均を基準 (=100) とした指数を、地域別 (地方10区分、都道府県、都道府県庁所在市及び政令指定都市) に作成している。

(1) 都道府県別の物価水準

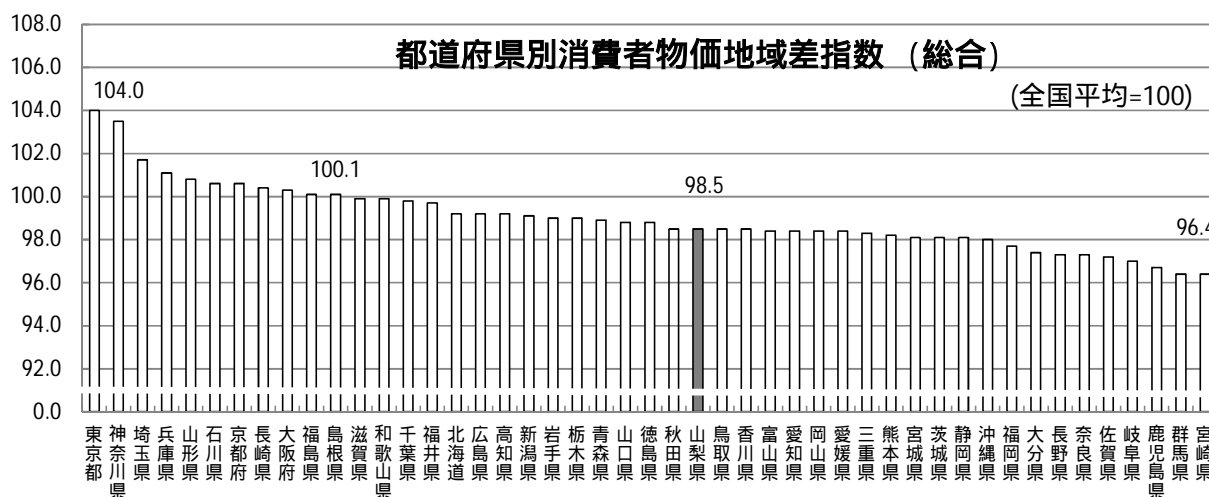
- ・ 本県(98.5)の平成27年平均物価水準は第25位。最も高いのは東京都(104.0)。
- ・ 東京都に比べて5.6% 低く、群馬県・宮崎県に比べて2.2%高い。

平成27年平均では、東京都に次いで神奈川県(103.5)、埼玉県(101.7)、兵庫県(101.1)、山形県(100.8)となっており、全国平均 (= 100) を上回った都道府県は11都府県(図1 - 1)。

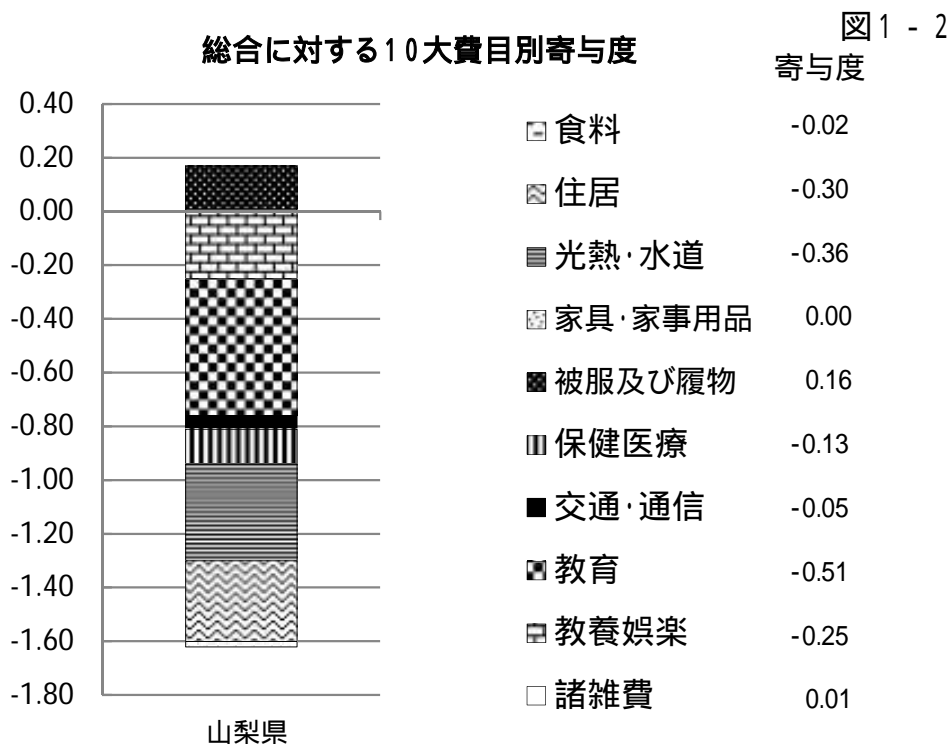
群馬県と宮崎県はともに96.4と最も低く、次いで鹿児島県(96.7)、岐阜県(97.0)と続く。

$$\frac{(\text{高い指数} - \text{低い指数})}{\text{低い指数}} \times 100$$

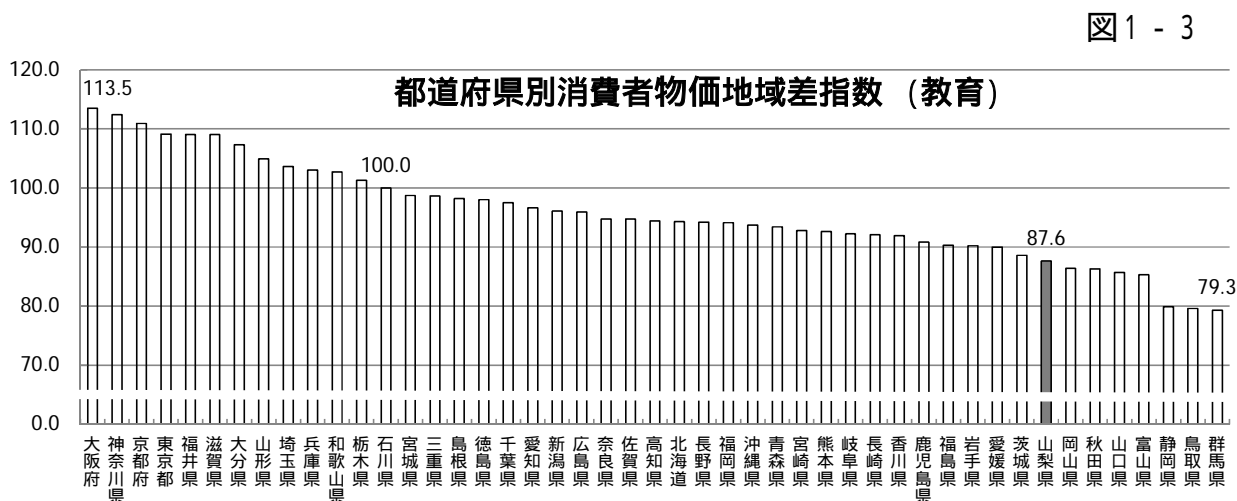
図1 - 1



本県の物価水準が全国平均より低い要因
 10大費目別寄与度 でみると、「教育」(-0.51)と「光熱・水道」(-0.36)、
 「住居」(-3.0)が大きい(図1 - 2)。
 また、本県「教育」の地域差指数は87.6で第40位(図1 - 3)。



寄与度
 物価水準全体(「総合」)に対して、各内訳項目がどれだけ影響したかを示したもの。
 この資料においては、ラスパイレス類似算式の指数の寄与度とパーシェの指数の寄与度の平均
 値を近似的な値として用いており、各内訳項目の寄与度を足し上げても、「総合」寄与度(「総
 合」 - 100)には必ずしも一致しない。



(2) 10大費目別の物価水準

- ・物価水準の差は、「住居」が最も大きく32.1ポイント、「交通・通信」が最も小さく4.2ポイント。
- ・「住居」は、東京都が最も高く、山梨県の約1.3倍。

10大費目別に、物価水準が最も高い都道府県と山梨県との差をみると、「住居」に次いで「教育」(25.9ポイント)、「光熱・水道」(16.4ポイント)などの差が大きい。

「住居」は最も差が大きいものの、順位は第11位(図1-4)。

差が小さいのは、「諸雑費」(3.0ポイント)、次いで「食料」(3.4ポイント)(表1-1)。

最も高い都道府県と山梨県の10大費目別指数による比較(表1-1)

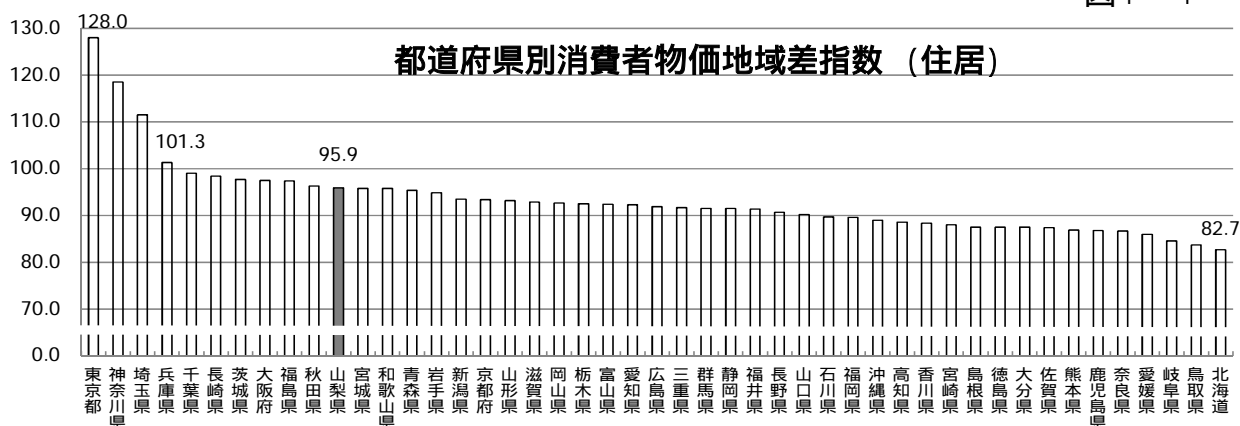
全国平均 = 100

10大費目	最も高い都道府県	山梨県	比率	比率 (前年分)	
総合	東京都	104.0	98.5	1.06	1.07
食料	石川県	103.3	99.9	1.03	1.04
住居	東京都	128.0	95.9	1.33	1.42
光熱・水道	北海道	112.4	96.0	1.17	1.14
家具・家事用品	福井県	112.1	100.0	1.12	1.08
被服及び履物	栃木県	115.6	103.3	1.12	1.10
保健医療	山口県	103.5	97.6	1.06	1.03
交通・通信	神奈川県	103.9	99.7	1.04	1.02
教育	大阪府	113.5	87.6	1.30	1.27
教養娯楽	埼玉県	104.8	97.9	1.07	1.08
諸雑費	兵庫県	103.1	100.1	1.03	1.05

差 = 最も高い都道府県の指数 - 山梨県の指数

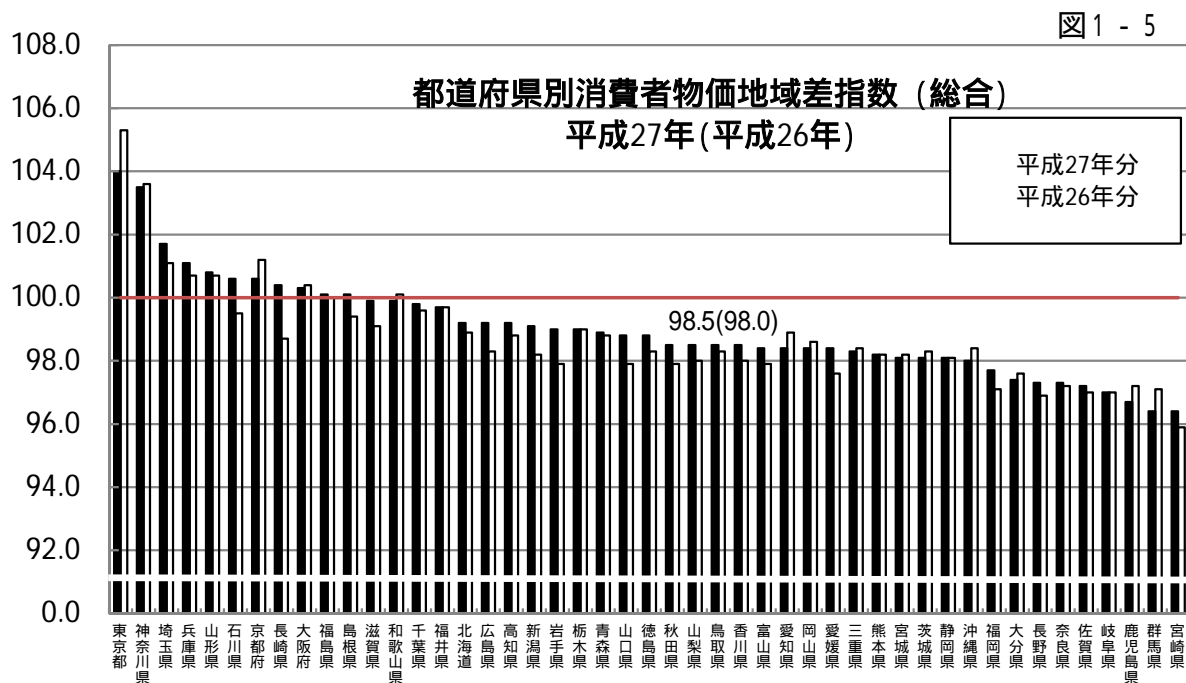
$$\text{比率} = \frac{\text{最も高い都道府県の指数}}{\text{山梨県の指数}}$$

図1-4



(3) 平成26年分結果との比較

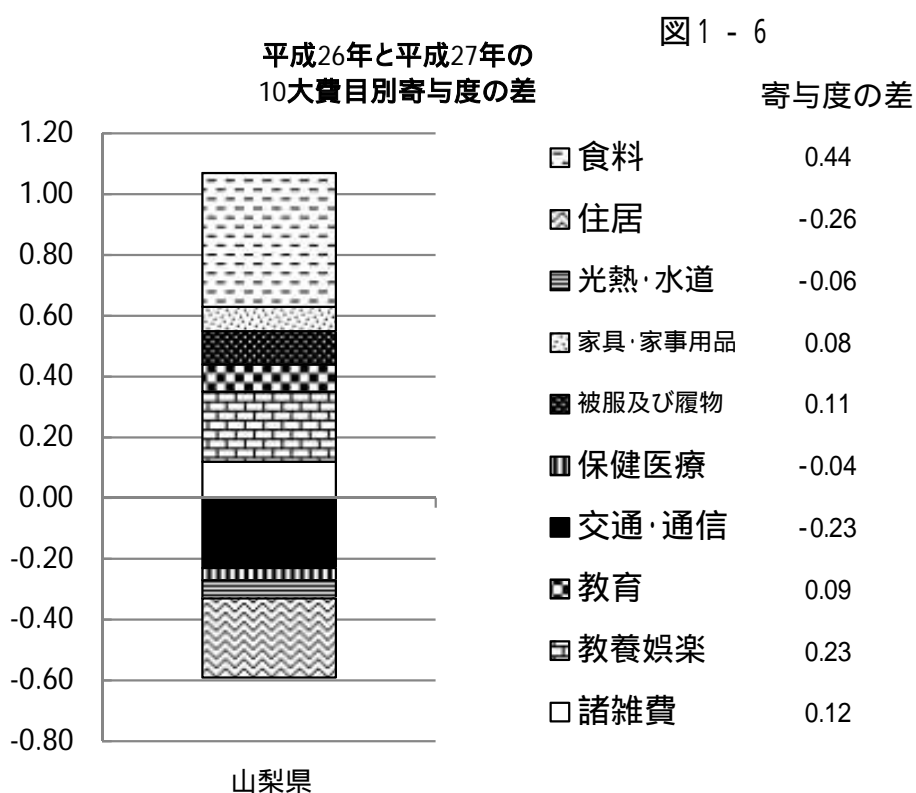
- ・「総合」では、物価水準が全国平均(= 100)以上の都道府県が、9都府県から11都府県に増加。(図1 - 5)
- ・本県の物価水準は、2年とも全国平均を下回った。
(平成26年は98.0で第32位、平成27年は98.5で第25位)



消費者物価地域差指数は、年次ごとに全国平均に対する当該地域の物価水準を相対的に表すものであるため、指数値の変動は、当該地域における物価水準の時系列変化を表している訳ではない。

・ 本県「総合」の変動に最大の影響を与えた費目は「食料」。

平成26年分結果と平成27年分結果の寄与度の差をみると、「食料」の影響が最も大きい。(図1-6)



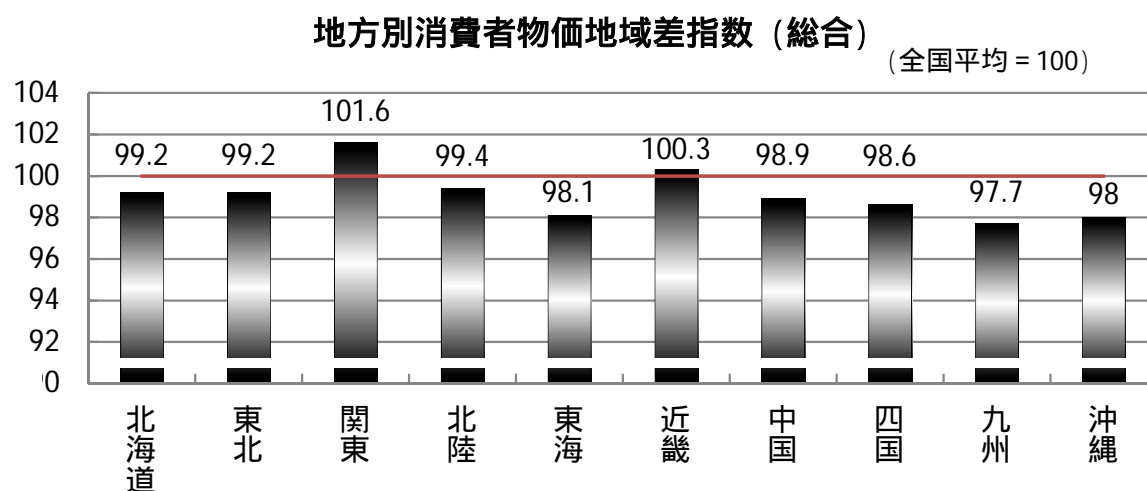
最も影響している費目とは、「総合」が前年より高かった都道府県については、寄与度差がプラスの費目のうち、最大の費目。逆に前年より低かった都道府県については、寄与度差がマイナスの費目のうち、マイナス方向に最大の費目としている。なお、前年と同じ値だった都道府県については、全ての費目のうち、寄与度差の絶対値が最大の費目としている。

(4) 地方別の物価水準

- ・物価指数が最も高いのは関東地方、最も低いのは九州地方。

地方別に消費者物価地域差指数の「総合」をみると、本県が含まれている関東(101.6)が最も高く、次いで近畿(100.3)。最も低いのは九州(97.7)、次いで沖縄(98.0)(図1 - 7)。

図1 - 7



(5) 都市別の物価水準

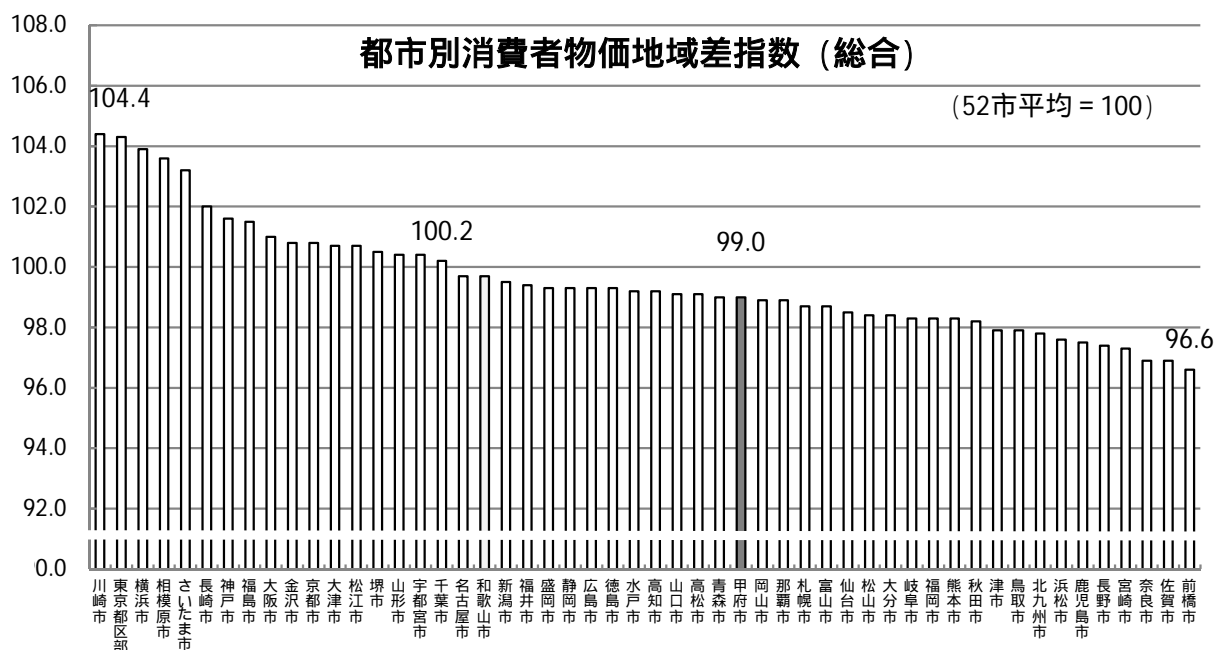
- ・ 甲府市(99.0)は第30位、最も高いのは川崎市(104.4)。
- ・ 甲府市は、川崎市に比べて5.5%低い。

都市別に「総合」をみると、川崎市(104.4)が最も高く、次いで東京都区部(104.3)、横浜市(103.9)、相模原市(103.6)、さいたま市(103.2)となっている(図1-8)。

前橋市(96.6)は最も低く、次いで佐賀市・奈良市(96.9)、宮崎市(97.3)、長野市(97.4)と続く。

$$\frac{(\text{高い指数} - \text{低い指数})}{\text{低い指数}} \times 100$$

図1-8



都道府県庁所在市（東京都は東京都区部）及び政令指定都市（川崎市、相模原市、浜松市、堺市及び北九州市）を指す。ただし、市の区域は、平成26年6月11日現在の区域による。

3 店舗形態の違いによる価格差

ここでは、店舗形態の違いによる価格差を明らかにすることにより、店舗の形態が価格に及ぼす影響をみることを目的とし、調査対象9品目について、スーパーと一般小売店又はスーパーと量販専門店の平均価格を集計・分析した結果を見ていく。

店舗形態

- スーパー：食品・日用品を中心にセルフサービス方式で販売している店舗
- 一般小売店：いわゆる米穀店、精肉店、惣菜店、酒飯店など
- 量販専門店：日用品を販売するいわゆるドラッグストアやホームセンターなど

(1) スーパーと一般小売店の比較

- ・うるち米、コロッケ及びビールはスーパーの価格が安い。
- ・豚肉は一般小売店の価格が安い。
- ・ビールで価格水準の差が拡大。

価格差を比較することを目的とした調査4品目（うるち米、豚肉、コロッケ及びビール）の年平均価格をみると、うるち米、コロッケ及びビールは、スーパーの価格が安く、豚肉は一般小売店の価格が安くなっている（表2-1）。

また、スーパーの年平均価格を100として一般小売店の価格水準をみると、ビール（120.5）が最も水準の差が大きい。

平成26年分結果と比較すると、ビールは価格水準の差が拡大し、コロッケは縮小している（図2-1）。

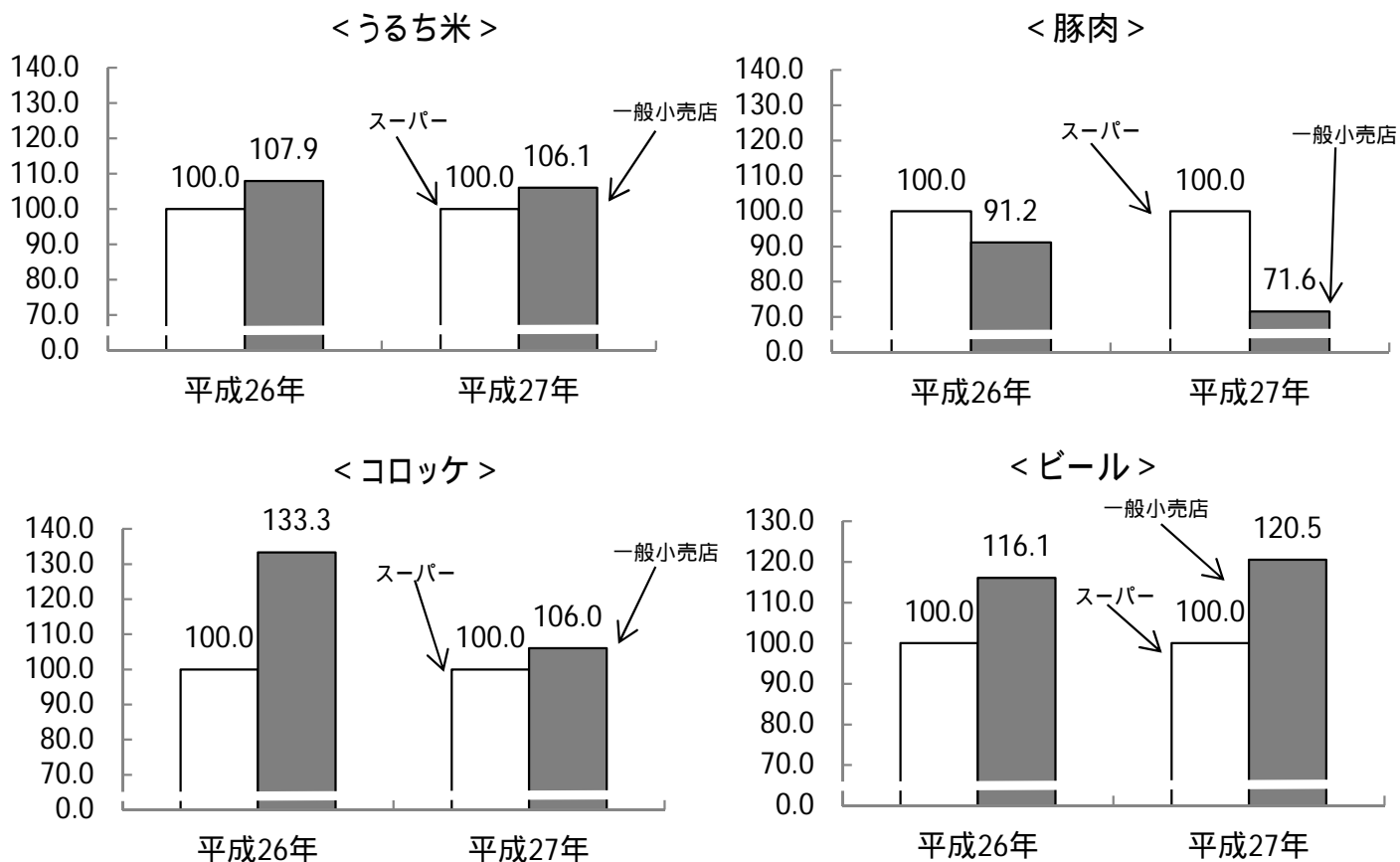
なお、うるち米は、スーパー、一般小売店共に年平均価格が下落しており、前年の価格が高かった一般小売店の下落率がスーパーと比較して高かったため、価格水準の差が縮小している。

平成26年との比較では、平成27年に銘柄改正を実施した豚肉は単純に比較できないため、記述していない。

表2 - 1 調査対象4品目の店舗形態別平均価格及び価格水準

品目(単位)	店舗形態	平成27年		平成26年		平成26年との比較 (27年 - 26年)	
		年平均 価格 (円)	価格 水準 (スーパー 年平均価 格 = 100)	年平均 価格 (円)	価格 水準 (スーパー 年平均価 格 = 100)	年平均 価格の 変化 (円)	年平均 価格の 変化率 (%)
うるち米(1袋(5kg))	スーパー	1,699	100.0	1,906	100.0	-207	-10.9
	一般小売店	1,802	106.1	2,057	107.9	-255	-12.4
豚肉(100g) (平成26年:ロース、 平成27年:バラ)	スーパー	250	100.0	249	100.0	1	0.4
	一般小売店	179	71.6	227	91.2	-48	-21.1
コロッケ(100g)	スーパー	83	100.0	66	100.0	17	25.8
	一般小売店	88	106.0	88	133.3	0	0
ビール (1パック(350ml×6缶))	スーパー	1,115	100.0	1,152	100.0	-37	-3.2
	一般小売店	1,344	120.5	1,337	116.1	7	0.5

図2 - 1 調査対象4品目の店舗形態別価格水準(スーパーの年平均価格 = 100)



(2)スーパーと量販専門店の比較

- ・全ての調査品目で量販専門店の価格が安く、特にドリンク剤とティシュペーパーが安い。
- ・ティシュペーパー及び紙おむつで価格水準の差が拡大、ドリンク剤は縮小。

価格差を比較することを目的とした調査5品目（ティシュペーパー、洗濯用洗剤、ドリンク剤、紙おむつ及びシャンプー）の年平均価格をみると、全ての品目で量販専門店の価格が安い（表2 - 2）。

スーパーの年平均価格を100として量販専門店の価格水準をみると、ティシュペーパー（87.5）が最も水準の差が大きく、次いで、ドリンク剤（91.1）となっている。その他の品目では比較的水準の差が小さく、スーパーと量販専門店の価格の違いは僅か（図2 - 2）。

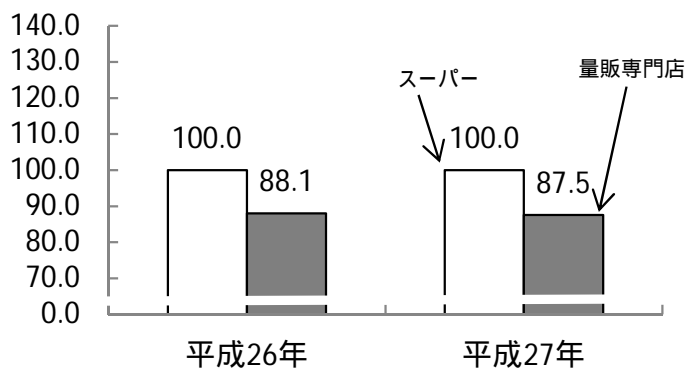
平成26年との比較では、平成27年に銘柄改正を実施した洗濯用洗剤及びシャンプーについては単純に比較できないため、記述していない。

表2 - 2 調査対象5品目の店舗形態別平均価格及び価格水準

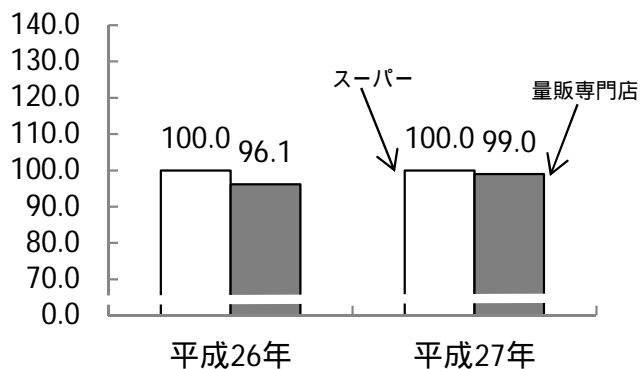
品目(単位)	店舗形態	平成27年		平成26年		平成26年との比較 (27年 - 26年)	
		年平均 価格 (円)	価格 水準 (スーパー 年平均価 格 = 100)	年平均 価格 (円)	価格 水準 (スーパー 年平均価 格 = 100)	年平均 価格の 変化 (円)	年平均 価格の 変化率 (%)
ティシュペーパー (1パック(320枚(160組)×5 箱))	スーパー	273	100.0	268	100.0	5	1.9
	量販専門店	239	87.5	236	88.1	3	1.3
洗濯用洗剤(1kg(液体))	スーパー	299	100.0	311	100.0	-12	-3.9
	量販専門店	296	99.0	299	96.1	-3	-1.0
ドリンク剤 (1箱(100ml×10本))	スーパー	1,014	100.0	1,032	100.0	-18	-1.7
	量販専門店	924	91.1	939	91.0	-15	-1.6
紙おむつ(大人用、10枚)	スーパー	690	100.0	679	100.0	11	1.6
	量販専門店	679	98.4	675	99.4	4	0.6
シャンプー(1,000ml)	スーパー	1,508	100.0	1,213	100.0	295	24.3
	量販専門店	1,540	102.1	1,141	94.1	399	35.0

図2 - 2 調査対象5品目の店舗形態別価格水準(スーパーの年平均価格 = 100)

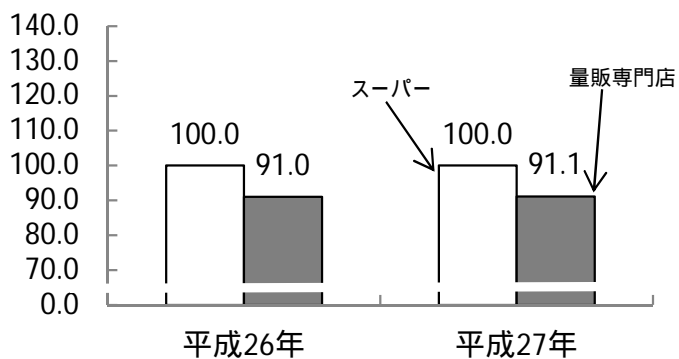
<ティッシュペーパー>



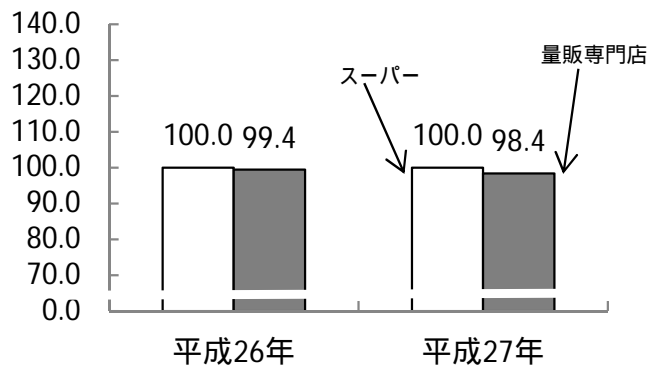
<洗濯用洗剤>



<ドリンク剤>



<紙おむつ>



<シャンプー>

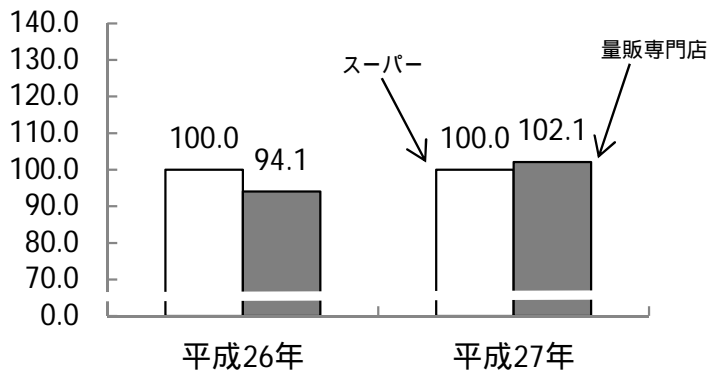


表1 10大費目別指数(47都道府県)

全国平均 = 100

都道府県	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
北海道	99.2	99.0	82.7	112.4	99.3	107.6	99.9	98.8	94.3	97.7	101.0
青森県	98.9	98.5	95.4	107.1	95.7	97.7	101.7	100.7	93.4	95.7	96.8
岩手県	99.0	97.5	94.9	109.6	101.1	98.9	100.5	99.8	90.2	98.2	97.4
宮城県	98.1	96.8	95.8	101.0	101.9	94.0	100.6	98.1	98.7	99.5	99.3
秋田県	98.5	97.2	96.3	104.4	103.4	100.5	99.1	98.4	86.3	98.1	99.9
山形県	100.8	102.0	93.2	109.5	94.4	106.6	97.6	99.7	104.9	98.8	97.9
福島県	100.1	99.8	97.4	108.1	101.9	106.6	99.9	99.3	90.3	96.1	102.7
茨城県	98.1	99.1	97.7	104.2	94.0	96.9	98.8	98.2	88.6	95.1	101.2
栃木県	99.0	99.3	92.5	98.2	100.0	115.6	99.7	98.5	101.3	95.7	99.9
群馬県	96.4	98.4	91.5	92.4	94.8	102.0	101.9	97.8	79.3	96.5	98.2
埼玉県	101.7	100.7	111.5	94.8	101.6	101.7	100.5	100.8	103.6	104.8	100.6
千葉県	99.8	99.9	99.0	101.9	100.4	93.4	101.1	99.7	97.5	101.8	99.7
東京都	104.0	103.0	128.0	96.5	102.6	98.5	101.2	102.6	109.1	104.1	99.4
神奈川県	103.5	102.2	118.5	99.5	100.5	100.5	97.9	103.9	112.4	102.9	102.0
新潟県	99.1	100.2	93.5	97.3	99.4	103.0	99.5	99.2	96.1	99.6	100.8
富山県	98.4	100.2	92.4	99.2	99.4	99.2	99.8	98.4	85.3	97.3	102.6
石川県	100.6	103.3	89.7	100.4	100.9	104.2	102.3	100.7	100.0	98.2	101.1
福井県	99.7	103.2	91.4	90.8	112.1	97.1	102.9	99.6	109.0	95.2	102.0
山梨県	98.5	99.9	95.9	96.0	100.0	103.3	97.6	99.7	87.6	97.9	100.1
長野県	97.3	94.2	90.7	101.0	96.5	102.7	98.3	100.4	94.2	97.8	101.8
岐阜県	97.0	97.0	84.6	94.8	94.0	102.0	99.8	100.7	92.2	98.1	99.6
静岡県	98.1	99.5	91.5	97.8	99.9	97.5	100.8	100.1	79.9	100.2	99.9
愛知県	98.4	98.6	92.3	97.7	98.0	99.7	100.2	98.6	96.6	100.8	98.5
三重県	98.3	99.5	91.7	98.7	98.6	98.0	99.5	99.3	98.6	96.7	98.7
滋賀県	99.9	99.1	92.9	100.0	97.0	108.8	100.7	101.5	109.0	97.7	100.3
京都府	100.6	100.4	93.4	99.8	101.9	96.4	98.0	102.4	110.9	102.6	100.9
大阪府	100.3	99.8	97.5	97.3	100.1	99.0	100.0	100.6	113.5	102.7	97.6
兵庫県	101.1	100.6	101.3	97.7	102.9	106.3	98.1	100.7	103.0	102.0	103.1
奈良県	97.3	94.8	86.7	100.3	99.6	96.5	99.8	101.3	94.7	99.7	100.6
和歌山県	99.9	101.2	95.8	100.5	101.4	97.5	101.2	99.8	102.7	98.0	99.4
鳥取県	98.5	102.3	83.7	102.2	103.1	104.1	100.1	98.5	79.6	95.0	98.4
島根県	100.1	102.1	87.5	108.2	100.0	102.6	98.8	100.3	98.2	96.2	100.9
岡山県	98.4	99.2	92.7	104.2	98.9	105.8	101.2	96.3	86.4	96.8	100.9
広島県	99.2	101.6	91.9	102.9	97.3	95.7	100.4	100.0	95.9	95.6	100.8
山口県	98.8	100.4	90.2	106.1	98.0	105.5	103.5	97.7	85.7	95.7	100.1
徳島県	98.8	100.4	87.5	101.2	101.0	104.9	98.6	97.6	98.0	97.9	99.3
香川県	98.5	98.1	88.4	102.8	99.9	95.4	99.9	102.3	91.9	96.7	102.6
愛媛県	98.4	99.4	86.0	103.8	103.3	99.2	101.0	98.6	90.0	99.4	97.1
高知県	99.2	102.8	88.6	99.5	98.8	98.4	101.5	99.4	94.4	96.7	99.7
福岡県	97.7	96.5	89.6	103.6	101.1	96.1	99.6	99.0	94.1	97.9	101.3
佐賀県	97.2	96.9	87.4	105.5	95.7	102.3	99.0	99.4	94.7	92.5	98.9
長崎県	100.4	99.8	98.4	108.6	100.7	109.9	100.8	100.4	92.1	95.0	101.3
熊本県	98.2	101.2	86.9	100.3	102.5	93.4	100.2	99.7	92.6	94.8	100.1
大分県	97.4	98.6	87.5	101.7	100.0	97.7	97.2	97.7	107.3	93.4	98.1
宮崎県	96.4	97.6	88.0	98.7	102.4	93.9	99.9	98.4	92.8	92.2	97.1
鹿児島県	96.7	99.8	86.8	98.7	93.2	91.4	100.3	99.8	90.8	92.6	96.9
沖縄県	98.0	102.3	89.0	99.2	97.1	100.4	102.3	97.8	93.7	96.1	94.2

表2 平成26年結果と平成27年結果の比較(総合)

都道府県	平成26年		平成27年	
	指数	順位	指数	順位
北海道	98.9	16	99.2	16
青森県	98.8	18	98.9	22
岩手県	97.9	34	99.0	20
宮城県	98.2	28	98.1	35
秋田県	97.9	34	98.5	25
山形県	100.7	5	100.8	5
福島県	100.0	9	100.1	10
茨城県	98.3	24	98.1	35
栃木県	99.0	15	99.0	20
群馬県	97.1	42	96.4	46
埼玉県	101.1	4	101.7	3
千葉県	99.6	11	99.8	14
東京都	105.3	1	104.0	1
神奈川県	103.6	2	103.5	2
新潟県	98.2	28	99.1	19
富山県	97.9	34	98.4	29
石川県	99.5	12	100.6	6
福井県	99.7	10	99.7	15
山梨県	98.0	32	98.5	25
長野県	96.9	46	97.3	41
岐阜県	97.0	44	97.0	44
静岡県	98.1	31	98.1	35
愛知県	98.9	16	98.4	29
三重県	98.4	22	98.3	33
滋賀県	99.1	14	99.9	12
京都府	101.2	3	100.6	6
大阪府	100.4	7	100.3	9
兵庫県	100.7	5	101.1	4
奈良県	97.2	40	97.3	41
和歌山県	100.1	8	99.9	12
鳥取県	98.3	24	98.5	25
島根県	99.4	13	100.1	10
岡山県	98.6	21	98.4	29
広島県	98.3	24	99.2	16
山口県	97.9	34	98.8	23
徳島県	98.3	24	98.8	23
香川県	98.0	32	98.5	25
愛媛県	97.6	38	98.4	29
高知県	98.8	18	99.2	16
福岡県	97.1	42	97.7	39
佐賀県	97.0	44	97.2	43
長崎県	98.7	20	100.4	8
熊本県	98.2	28	98.2	34
大分県	97.6	38	97.4	40
宮崎県	95.9	47	96.4	46
鹿児島県	97.2	40	96.7	45
沖縄県	98.4	22	98.0	38

表3 平成27年平均消費者物価地域差指数 都道府県庁所在市別順位

(52市平均 = 100)

順位	地域	持家の帰属家賃を除く総合
	52市平均	100.0
1	川崎市	104.4
2	東京都区部	104.3
3	横浜市	103.9
4	相模原市	103.6
5	さいたま市	103.2
6	長崎市	102.0
7	神戸市	101.6
8	福島市	101.5
9	大阪市	101.0
10	金沢市	100.8
10	京都市	100.8
12	大津市	100.7
12	松江市	100.7
14	堺市	100.5
15	山形市	100.4
15	宇都宮市	100.4
17	千葉市	100.2
18	名古屋市	99.7
18	和歌山市	99.7
20	新潟市	99.5
21	福井市	99.4
22	盛岡市	99.3
22	静岡市	99.3
22	広島市	99.3
22	徳島市	99.3
26	水戸市	99.2
26	高知市	99.2
28	山口市	99.1
28	高松市	99.1
30	青森市	99.0
30	甲府市	99.0
32	岡山市	98.9
32	那覇市	98.9
34	札幌市	98.7
34	富山市	98.7
36	仙台市	98.5
37	松山市	98.4
37	大分市	98.4
39	岐阜市	98.3
39	福岡市	98.3
39	熊本市	98.3
42	秋田市	98.2
43	津市	97.9
43	鳥取市	97.9
45	北九州市	97.8
46	浜松市	97.6
47	鹿児島市	97.5
48	長野市	97.4
49	宮崎市	97.3
50	奈良市	96.9
50	佐賀市	96.9
52	前橋市	96.6

順位	地域	食料
	52市平均	100.0
1	相模原市	104.5
2	那覇市	103.9
3	金沢市	103.5
4	東京都区部	103.2
4	松江市	103.2
6	高知市	103.0
7	福島市	102.9
7	横浜市	102.9
7	徳島市	102.9
10	福井市	102.7
11	富山市	101.9
12	長崎市	101.8
13	熊本市	101.7
14	宇都宮市	101.5
14	川崎市	101.5
16	さいたま市	101.4
16	神戸市	101.4
16	広島市	101.4
19	山形市	101.3
20	鳥取市	101.1
21	新潟市	101.0
21	鹿児島市	101.0
23	堺市	100.9
24	岡山市	100.8
24	山口市	100.8
26	千葉市	100.6
26	京都市	100.6
28	和歌山市	100.4
29	大津市	100.2
29	大分市	100.2
31	札幌市	99.9
31	甲府市	99.9
31	大阪市	99.9
34	水戸市	99.8
34	静岡市	99.8
34	宮崎市	99.8
37	松山市	99.7
38	名古屋市	99.4
39	津市	99.1
40	盛岡市	99.0
41	青森市	98.9
42	浜松市	98.7
43	岐阜市	98.5
43	高松市	98.5
45	北九州市	98.3
46	前橋市	97.3
47	秋田市	97.2
48	仙台市	97.1
49	福岡市	96.9
50	佐賀市	96.4
51	長野市	94.5
52	奈良市	93.8

順位	地域	家賃を除く総合
	52市平均	100.0
1	相模原市	102.9
2	横浜市	102.7
3	川崎市	102.6
4	さいたま市	102.3
5	福島市	102.1
6	東京都区部	102.0
7	長崎市	101.9
8	神戸市	101.5
9	金沢市	101.4
10	松江市	101.3
11	大津市	101.2
12	山形市	101.1
13	京都市	101.0
14	宇都宮市	100.8
14	堺市	100.8
16	大阪市	100.6
17	和歌山市	100.4
18	徳島市	100.3
19	千葉市	100.2
19	山口市	100.2
21	福井市	100.1
21	高知市	100.1
23	広島市	100.0
23	那覇市	100.0
25	名古屋市	99.8
26	札幌市	99.7
26	盛岡市	99.7
26	水戸市	99.7
26	新潟市	99.7
30	青森市	99.6
30	甲府市	99.6
30	岡山市	99.6
30	高松市	99.6
30	大分市	99.6
35	松山市	99.5
35	熊本市	99.5
37	富山市	99.4
38	福岡市	99.3
39	岐阜市	99.2
40	静岡市	99.1
41	鳥取市	98.9
42	仙台市	98.6
42	秋田市	98.6
42	北九州市	98.6
45	津市	98.5
46	長野市	98.2
47	宮崎市	98.1
47	浜松市	98.1
49	佐賀市	98.0
50	鹿児島市	97.9
51	奈良市	97.3
52	前橋市	97.2